

みらいく田園調布本町園 活動報告

■SDGsのことを知ろう！



4歳、5歳児クラスの学びの時間。SDGsは持続可能な社会の実現を目指すものであり、これを学ぶことで子どもたちは地球や社会の問題に対する意識を高めることができます。また、子どもたちが学んだことを家庭や地域社会に伝えることで、自然と保護者や地域全体のSDGsに対する意識が向上することにつながります。

■具体的なアクション

①ペットボトルキャップ回収

子ども、保護者から提供されるペットボトルキャップを回収業者団体に引き渡し。ボトルキャップのリサイクルで生じる利益の一部がJCV（世界の子どもにワクチンを 日本委員会）に寄付されます。JCVではユニセフと連携して、世界のワクチン工場へワクチンが発注されます。



キャップ集めは子どもたちには楽しい活動で、私たちにとっても取り組みやすい。これならできそうだと。始めることに。園児はもちろん、頼もしい保護者の皆さまからも様々な形で提供頂きました！1年半の活動で16,250個＝約32.5Kg＝ワクチン約16人分！小さな活動ですが、大変意義のあるものになりました。

②古着のお譲り会

保護者からの声です。「子どもの古着を捨てるのはもったいない！」「年下の子に譲る機会を作りたい！」そんな保護者からの声にお応えできないか！？



ご家庭で不要になった衣類をお持ちいただいて、お引き取り希望のご家庭へリユース。お引き取りがない衣類は、当園を管轄する東京都大田区の古着回収へ。大田区では集められた衣類をリユース&リサイクルします。行政の古着回収拠点に園児が古着をお届けした際には、職員から子どもたちにステキな笑顔で「ありがとう。」とお礼の言葉。子どもたちは照れくさそうに「どういたしまして。」と、私たちも笑顔に。非常に良い経験を得ることができました。

③ゴミ拾い

お散歩に行く公園をキレイに。園児による「お掃除隊結成！」



子どもたちにとっては宝探し。いつもお世話になっている公園がキレイになりました。小さな手に一つひとつのゴミ。これが、「住み続けられる街」への第一歩となります。

その後の話

私たちは保護者、地域の皆さまとこのような取り組みを行ってきました。少しうれしい話があります。先日実施した保護者アンケート。「お子様にご家庭でSDGsの話をしていますか？」結果は、80%超えの「Yes!」。子どもがキラキラした目で、保護者にSDGsの話をしている情景を思い浮かべ、「取り組んで良かった。」と職員一同。